

**製品名:** リン酸化ヒストン H2B(T129)ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe83770

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	酵母
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	14 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-HistoneH2B(T129)
別名	HTB2; Htb2p; HTB1; Htb1p; Histone H2B.1; Histone H2B.2; SPT12;;p-Histone H2B.1 (T129)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P02293(yeast)
免疫原	酵母ヒストン H2B.1 の T129 リン酸化部位周辺から合成したペプチド

## 背景

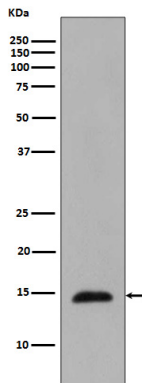
ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

アクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA へのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



メチルメタンサルホン酸で処理したサッカロミセス・セレビスエ細胞溶解物におけるヒストン H2B 発現のウエスタンブロット分析。